

2024年6月25日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況（2024年5月）

1. 概況

県内経済は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横這い圏内で推移している。設備投資は、減速しつつも高水準で推移している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横這い圏内で推移している。

先行指標である公共工事請負金額（2024年5月）は、5ヵ月連続で前年を上回った（前年比+26.7%）。

設備投資は、減速しつつも高水準で推移している。

2024年3月短観（岩手県）の設備投資額をみると、2023年度（全産業）は前年度比+0.2%となる見込み。また、2024年度は、製造業ではEV向けや工場集約目的など中・長期的視野に立った投資がみられるものの、全体では大型投資の一巡から前年度を幾分下回る計画。非製造業でも慎重な需要見通しや案件一巡から前年度を下回る計画にあり、全産業では前年度を△3.9%下回る計画。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2024年4月）は、4ヵ月振りに前年を上回った（前年比+1.1%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2024年4月）は、引き続き前年を上回った（同+0.3%）。一方、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2024年5月）は、供給制約を主因に6ヵ月連続で前年を下回った（同△12.1%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2024年4月）は、5ヵ月振りに前年を上回った（前年比

+52.4%)。内訳をみると、持家（同△9.3%）が前年を下回ったものの、貸家（同+2.2倍）と分譲（同+2.1倍）が前年を上回った。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。

鉱工業生産指数（季節調整値：2024年3月）は、2ヵ月連続で前月を上回った（前月比+2.3%）。主な業種の指数をみると、食料品、はん用機械が低下したものの、電子部品・デバイス、化学が上昇した。

四半期の動きをみると、2024/1～3月は4期振りに上昇した（2023/7～9月：前期比△8.0%、10～12月：同△3.3%、2024/1～3月：同+5.8%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2024年4月）は、1.22倍と、前月から横這いだった（2024年3月：1.22倍）。

雇用者所得（県内合計値：2024年3月）は、常用雇用指数（前年比+0.0%）が前年と同水準のもとで、名目賃金指数（同+1.8%）が前年を上回ったことから、3ヵ月連続で前年を上回った（同+1.8%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2024年5月）は、引き続き前年を上回った（前年比+3.6%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2024年5月）は、8件、負債総額1,242百万円となった（前年同月は8件、負債総額1,501百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2024年4月）をみると、預金が前年を下回った一方、貸出が前年を上回った。貸出約定平均金利（2024年4月）は横這い圏内で推移している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

